

2023年6月7日

学生のみなさんへ

東京医療保健大学
学長 亀山 周二

生成系 AI の適切な利用についての学長メッセージ

近年、人工知能（AI）技術は急速に発展し、文書や画像を生成するものまで登場しています。本学では、学生の皆さんにこのような生成系 AI (ChatGPT, BingAI, Bard, Midjourney, Stable Diffusion 等) の適切な利用を呼びかけます。

生成系 AI は、大量の既存の文章やコンテンツを機械学習と強化学習を行い、確率的にもっともらしい文章を作成します。したがって、書かれている内容には誤った情報が含まれている可能性があります。そのため、専門的な知識をもって、回答を批判的に確認し、修正することがきわめて重要です。

また、レポートや課題、論文等において他者が記載した文章をそのまま書き写すことは、それが人か AI かを問わず、「剽窃^{ひょうせつ}」になり得る可能性があります。

さらに、生成系 AI に秘密を指定された情報や個人情報を入力すると、それらの情報は AI に学習データとして利用され、意図しない形で他の利用者への回答として提示されることがあります。このような情報漏えいを防ぐため、秘密を指定された情報や個人情報を生成系 AI で利用することは、本学では認めていません。なお、画像を扱う生成系 AI では、インターネット上のコンテンツを取り込んで学習し、画像を生成しているため、意図しない形で著作権等の知的財産権を侵害する可能性があることにも留意してください。

他方、学生の皆さんに対して、自らの能力向上を目的とした AI の活用を否定するわけではありません。むしろ皆さんが AI の課題を含めた本質を理解し、その理解に基づく適切な活用法を「自調自考」できることは、これからの社会に必要な不可欠なリテラシーです。

本学は 2023 年に大学ビジョンを改正し「東京医療保健大学は、DX を取り入れ、教育・研究・学生支援・学内業務を大胆に改革し、デジタル社会を先導するスマートキャンパスをめざします。」との項目を追加しました。生成系 AI の適切な利用も、このビジョンを具現化する一つの要素ですから、引き続き適切な利用に努めていただくことを期待します。